

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

| | | |
|-----------|--|--|
| ふりがな | とくていひえいりかつどうほうじんやおよろず | |
| 団体名 | 特定非営利活動法人やおよろず | |
| 代表者名 | 代表理事 牛谷 誠一 | |
| 連絡先 | 住所 | 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ2F |
| | TEL | 070-7567-0800 |
| | E-mail | yaoyorozu.npo@gmail.com |
| | URL | |
| 設立年（西暦） | 2018 年 | |
| 助成活動名 | 障害者よろず支援及びシェルター支援 | |
| 助成額 | 1,000,000 円 | |
| 活動内容 | 目的 | <p>現在、岡山市及びその周辺では圧倒的に障害者シェルターの数および種類が少なく、自閉スペクトラム症などの障害特性に対応できるシェルターはないに等しい。</p> <p>こういった事情を鑑みて今一番社会から必要されていながらも社会への供給が全くなされていない障害者シェルター事業を運営させたいと思いました。</p> |
| | 内容 | <p>家族または使用者からの虐待により住む場所をなくした障害児者の一時的な受け入れを行い、次の生活の場を確保するため必要に応じて福祉行政へつなげ各支援ネットワークを活かして切れ目のない支援を行う。</p> <p>又、シェルター利用のない期間を活用して一人暮らしを想定した自立に向けた準備を行う場所として非営利活動を行う。</p> |
| | 成果 | <p>今年度の活動について、夜間の宿泊利用よりも日中の利用希望が多かったため以下に記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース 1 <p>精神障害者（統合失調症） 就職に失敗して挫折した方への就労相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外へ就職したが、体調不良により帰ってくる。 すぐ就ける仕事もなく当法人で事務手伝いを行いながら求職活動を行い、次の職場へ就職するまでに至った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケース 2 <p>知的障害者（PTSD） 福祉就労の事業所先で、性的虐待を受けたため、日中は虐待被害者を匿い安全を確保しながら、警察等司法関係機関への支援のつなぎを行った。</p> |
| 今後の課題と対応策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ケース 1 の課題について 事務作業に特化したある程度の広さを持った場所の確保や事務用品の十分な確保の必要性を感じた。 | |

・ケース2の課題について

被害者の住所と事業所の所在地を管轄する自治体が違い、また事業所の使用者虐待に当たるということになったが、労働局の対応案件になることにより、管轄があいまいになり、結果相手方への罰則はなく虐待通報・相談が有効に作用したとは到底言い難く本人には不全感だけが残った。

今後こういったことが起きないようにするためにも、行政機関の司法関係への通報義務を熟知してもらう必要があり、普及活動に励みたい。

写真の提出